



環境科学院
環境プロジェクト
コーディネーター
コース

EPoCH

履修者
募集

環境保全と地域づくり

環境コミュニケーション

環境学習・理科教育

地域資源を活かす観光

持続可能な北海道

研究アウトリーチ



practise.ees.hokudai.ac.jp



「環境と、なにか」
をつなぐ人になろう!

社会で役立つ実践知
を獲得するコース
本格始動します。

詳細はWebサイトへ



説明会 4/13
申込締切 4/28
開講 5/12



このコースの講義、実習を受講し、所定の履修条件を満たすと、「環境プロジェクトコーディネーターコース」(EPoCH)の修了証を授与します。

また、大学院環境科学院の環境起学専攻実践環境科学コースの「実践環境科学基礎論Ⅰ/Ⅱ」「同実習Ⅰ/Ⅱ」として履修することで、単位を取得することもできます。

問い合わせ先・応募先

北海道大学環境科学院 IFES-GCOE 環境教育研究交流推進室

Mail: practise@ees.hokudai.ac.jp

Phone: 011-706-3355

<EPoCHのコンセプト>

課題解決のプランニングと実行力を養い社会に何かを生みだせる人になろう！
社会には様々な課題があります。環境に関することの一つです。また、それらは複雑に絡み合っており、その解決にはひとつの分野に限らず、様々な視点でアプローチしていく必要があります。今後、口だけではなく解決の糸口を見つけそれを実現していく人が求められます。

<EPoCHがカバーしているテーマ>

・北海道の気象や自然を活かした環境教育、防災教育

積雪寒冷地である北海道の気象の特徴を最大限に活用して、観光、学校教育、アウトドア、防災等地域で抱える課題の解決を試みます。

2010年度には、星野リゾート・トマムで、トマムの雲海を題材に観光客へ提供する教育プログラム「雲の学校プロジェクト」を作成しました。

ほかに、小中学校で雪を活かした環境教育、釧路市子ども遊学館と北大をテレビ会議システム結んだ地球温暖化・生物多様性の教育イベント、登山の安全のための山岳気象の啓発、防災を題材にしたトークセッション等を行いました。

(キーワード: 気象学、雪氷学、防災教育、学校教育、環境教育)

・実践プロジェクトのための異分野コミュニケーション・デザイン

環境科学を基盤とした各種の実践を組み立て、社会の多様な主体と連携しながら遂行していくためには、環境科学「以外」の異分野の知見もよく理解することが不可欠です。特に、急速に発達を遂げるメディア技術を活用しながら、社会において求められる情報を適切に編集・発信していくための考え方や手法、バックグラウンドの異なる人々と場を共有し、そこで問題解決や創造を行っていくワークショップ的な体験学習の技術を学ぶことができます。

(キーワード: 科学技術コミュニケーション、情報デザイン、
ワークショップ、理科教育、生涯学習、研究アウトリーチ)

・北海道をフィールドとした環境ビジネス・ソーシャルビジネス

環境も含め社会の課題を解決していくための大きなポイントは「お金が動く仕組みをつくること」です。昨今、社会(環境)の課題解決とビジネスを両立させるソーシャルビジネスや環境ビジネスが注目を集めています。PractiSEでは、行政や企業単体ではなかなか手が届かないスキマを補完する仕組みづくりに取り組みます。もちろん、その結果は地域づくりにもつながっています。

(キーワード: 環境ビジネス、ソーシャルビジネス、地域づくり)

<対象者、定員(予定)、履修申し込み方法>

・環境プロジェクトコーディネーター基礎コース
北海道大学等大学生及び大学院生: 最大50名
(講義の一部を一般公開とする場合があります。)

・環境プロジェクトコーディネータースキルアップコース
北海道大学等大学生及び大学院生: 20名程度

・環境プロジェクトコーディネーター実践コース
環境科学院及び農学院の大学院生: 10名程度

(各コースでは原則的に応募用紙の記載事項を元にした選考を行います。)
下記Webサイトの応募要領を熟読の上、所定の応募用紙を用いて履修を申し込みすること。
<http://practise.ees.hokudai.ac.jp/epoch.html>
履修受付締切: 4月28日(木)